



ようやく学校の始まりです。しかし、新型コロナウイルス感染症については、いまだ不明な点が多く、私たちは、これからも長期にわたり、この感染症とともに社会で生きていくことが予想されます。当分の間は、各クラスを2グループに分けた午前・午後の分散登校となります。「元に戻るのはいつだろう」と過去に戻る日を待つのはなく、「どうすれば、今後、誰もが安心して過ごせるか」といった未来の新しい日常を自分たちで創出しようとするのが賢明でしょう。「安全のためには、まだ家から出るべきではない」「経済活動のためには、もっと活動をしていくべきだ」といったそれぞれの立場による「正義」が語られます。いまは、誰の意見も正しいように思えます。「正解」はどこにもありませんし、誰にもわかりません。東和中学校の新しい日常にとって「最適な解」をみんなで考えましょう。



## ○ 新しい日常で継続すべき基本的な感染対策

- ・ 3つの密を避ける
- ・ マスクの着用
- ・ 手洗いなどの手指衛生

換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発声の3つの条件が同時に重なる場を避けることはもちろん、1つ1つの条件が発生しないように配慮することが大切です。マスクについては、通常は着用しましょう。特に、近距離での会話や発声等が必要な場面(授業中等)では、マスクの着用は徹底します。また、様々な場所にウイルスが付着している可能性があります。外から教室等に入る時やトイレの後、給食(昼食)の前後など、こまめに手を洗いましょう。手は流水と石けんでの手洗いで十分です。

上記のことに加えて、毎朝の検温や健康状態の確認をしましょう。こういったことが日常の当たり前になると、みんな今より健康になるかもしれませんね。



## ○ いつの時代にも大切にすべき心の健康

- ・ 絶対にあってはならない感染症の流行による差別や偏見

みなさんは、今後、様々な衛生に努めることで、生涯にわたり体の健康を保持増進するための力を身につけるでしょう。しかし、本当の意味での健康とは、単に病気ではないといったことではなく、心の状態が良好であることを言います。心が健康であることが健康なのです。インフルエンザでは起こらない差別や偏見があるのはなぜか。それは、新型コロナウイルス感染症に対する誤った情報や認識、不確かな情報に惑わされているからです。差別や偏見は、何だかよくわからないことへの不安が招いていると言えます。感染者が多い国やその国の方々への誹謗中傷・SNS等への書き込み、感染者やその家族、わが身を顧みず人のために従事している医療関係者等への不当な偏見や差別やいじめ、感染者が出た施設に対する不当な風評、感染を疑われた人への差別、偏見、いじめ、誹謗中傷……。ウイルスは人を選ばず感染を拡げることが脅威となっていますが、人は人を選んで攻撃しています。なんて恐ろしいことでしょう。私たちには、感染して苦しんでいる人を励ます優しさがあるはず。いまは体の距離を離すことを求められますが、心の距離はすぐ届くよう密にしたいものです。

### <行事予定について>

6月15日以降は、現時点では、通常の登校を予定しています。それまでは、分散登校等になります。感染対策をしながら部活動も再開します。ところが、行事については、なかなか確定できていません。何かと、確定次第、連絡します。それぞれの学年が配付する学年だよりや、学級担任からの連絡等で確認をお願いします。見通しを持った計画をたてづらく申し訳ありませんが、ご理解いただき、ご協力ください。



東和便りは、東和中学校ホームページにも掲載しています。

<http://www.wakayama-wky.ed.jp/towa/>